

# 青少年育成だより

令和3年12月発行  
日高町青少年対策事務局  
☎ 01456-2-3722

## 令和3年度「少年の主張」最優秀賞（北海道知事賞）

### 完璧じゃなくていい

洞爺湖町立洞爺中学校3年 吉野真帆さん

普通の体になりたい。私はずっとそう思っていました。私は、耳が悪いです。聞こえてはいるのです。でも、聞き取れないのです。一番辛いのは授業中です。先生が「教科書開いて」と言っても聞き取れていなくて、友達に教えてもらったり、先生の話が聞こえていなかったで「もう一度言ってください。」とお願いして、授業を止めてしまうこともありました。その度に、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

私は、周りの人が助けてくれた時にいつも「ごめんね。ごめんなさい。」と、謝っていました。

どうして耳が悪いんだろう。もっと普通の体になりたい。周りの人はきっと、迷惑だと思っている、そうずっと思っていました。

そして、耳が悪い私が悪いのだと、自分を責め続けていました。そんなある時、私の話を聞いてくれた人がいました。「私、耳が悪くて、周りの人に迷惑かけている自分が情けなくなる。話しても聞こえてなくて、ごめんね。」と、謝った時のことです。

その人は「そんなの思わなくていい。なんで謝るの、謝らなくていいからもっと頼ってよ。」そう言ってくれたのです。

その瞬間、耳の悪いのは恥ずかしいと思っていた気持ちが一気に晴れたように感じました。今まで周りは私のことが迷惑だと思っていたのに、本当は助けようとしてくれていた人がいたのです。

今まで自分が閉じ込められていた世界が解き放されたように感じました。そして、私は耳が悪いけれど「これが私なんだ」と強く思うことができたのです。よく「耳が悪いのはかわいそうだね。」と、言われますが、私はかわいそうではありません。ただ、耳が悪いだけです。そして、耳が悪かったからこそ、人の優しさや、周りの支えに気づくことができたのです。

そう思うと、今までごめんなさい、と思っていた気持ちが、ありがとう、という気持ちに変わりました。耳の悪い私だからこそ、人の優しさに何度も助けられ、大切な人の存在に気づくことができたのです。

世界には、色々な障害がある人たちがいます。私のように耳が悪い人も、目が見えない人、手足が不自由な人。また身体が不自由と言うだけではなく、自分に自信がなかったり、自分の存在自体を受け止められない人もたくさんいると思います。

でも、それは悪いことでも、かわいそうなことでもない。人と違うところがあるとしても、自分にかけているところがあると思うことがあっても、そのままでもいいのです。身体が不自由でも、自分に自信がなくても、だからこそ気づける優しさが、周りにはきっとあります。私たちはみんな、完璧な存在ではありません。完璧ではないからこそ、見える世界があるのです。 (～続く～)

公益財団法人 北海道青少年育成協会 機関誌「育む」  
No. 27より転載

完璧な人などおりません。また完璧である必要もありません。多くの人に助けられながら今を生きている私達。真帆さんは、一人一人が手を取り合って、堂々と自分を好きでいられる世界をつくっていきませんか、と私達に呼びかけています。

### 令和3年度「絆づくりメッセージ」

いじめやネットトラブル防止に向けた「ことば」や「ポスター」によるコンクールが行われました。

日高管内審査  
ことば部門 **奨励賞**

富川小学校6年  
伊藤 颯佑 さん

友達と 絆づくりの あいさつだ

全道審査 ポスター部門  
**最優秀賞**

門別中学校2年  
井元 千尋 さん

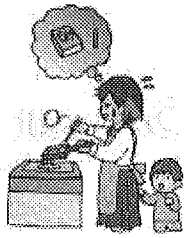
日高管内審査ポスター部門では、門別中学校から以下の3名も入賞しました。

<b>奨励賞</b>	第1学年 工藤 永色 さん
	第2学年 中村 心優 さん
<b>最優秀賞</b>	第2学年 蔦 心優 さん



【門別中学校 井元 千尋】

## 道初のヤングケアラー調査



道は7月～8月にかけて初めての実態調査を行い、結果を公表しました。対象は、札幌市を除く道内公立中学校と高校の2年生です。結果は以下の通りですが、世話を始めた年代については、いずれも「小学生から」と回答した割合が最も高く、世話の頻度では中学生の「ほぼ毎日」が57.3%にも上りました。そして、中学生の81.5%が世話の悩みについて相談した経験がないと答えています。学校でもヤングケアラーの実態把握を進めていますが、把握したことにより外部の支援につなげたケースも報告されています。支援の輪を拡げていきたいですね。

より外部の支援につなげたケースも報告されています。支援の輪を拡げていきたいですね。

校種	世話をしている家族がいる	世話をしている家族(最も多い家族)
中学校	3.9%	きょうだい 72.6%
全日制高校	3.0%	きょうだい 54.3%
定時制高校	4.5%	きょうだい 50.0%

※ヤングケアラーとは、本来、大人が担うとされる家事や介護、幼いきょうだいの世話などを日常的に行っている18才未満の子どもを指します。

## 東京五輪 感動エピソード!

陸上男子110メートル障害に出場していたジャマイカのハンスル・パーチメント選手。準決勝のレースに臨むため、選手村から国立競技場へ向かおうとしましたが、乗るバスを誤り別の会場に着いてしまいました。バスを乗り換える余裕もなく、出場もかなわないと思われました。

しかし、その場にいた大会関係スタッフの女性からタクシー代(自腹で1万円)を手渡され出場できました。後日、女性を訪ねて再会したパーチメント選手。1万円とユニフォームを渡し感謝を伝えましたが、「見せたいものがある。」と言って、バックから取り出したのは、なんと『金メダル』。

お金を渡した女性の言葉です。

「私の1万円は仕事をすればまた手に入ります。彼の人生と私の1万円は重みが違うので、ためらいはありませんでした。」

## 《町内各学校の冬季休業期間》

学校名	電話番号	休業期間
日高小学校	6-2620	12月23日～1月17日
日高中学校	6-2624	12月23日～1月16日
日高高校	6-2626	12月22日～1月13日
富川小学校	2-0027	12月25日～1月19日
富川中学校	2-0026	12月21日～1月13日
富川高校	2-0411	12月24日～1月16日
門別小学校	2-5006	12月25日～1月17日
門別中学校	2-5039	12月21日～1月12日
厚賀小学校	5-2154	12月25日～1月19日
厚賀中学校	5-2404	12月25日～1月16日

日高地区 01457 門別地区 01456

冬休み中は、子どもだけで過ごす時間が増えます。テレビの見過ぎやゲームのやり過ぎに注意が必要です。規則正しい生活習慣の確立に一声かけて下さい。

**教育長杯町民  
スピードスケート大会  
1月23日(日)**